



～コロナに負けない教育活動の展開～



日野市立小・中学校では、新型コロナウイルス感染症感染予防・感染拡大防止対策と子供たちの学びの両立を目指し、日々の教育活動を実施しております。「コロナだからできない」「コロナだからあきらめる」ではなく、「コロナの中でも何ができるか」「コロナの中でもどうすればできるか」を考え、引き続き、地域の皆様とともに、子供たち一人一人の学びを大切にしたい教育活動を推進してまいります。

学習

学習者用一人1台端末を活用したり、友達と話し合ったりしながら学びを深めています。



部活動

子供たちは目標をもち、学年を超えて協力しながら練習に励んでいます。



学校行事

学校行事は学校生活のハイライト！集団での活動を通して友達との友情を深めています。



日野市立 小・中学校の 教育活動

地域とのかかわり

学校内にとどまらず、校外に出での学びを得る機会も増えています。



未来につなぐ創造力プロジェクト

TRANSFORMING OUR WORLD
SDGs IN ACTION HINO

平成26年度から始まった「未来につなぐ創造力プロジェクト」では、日野市立中学校の代表生徒が宮城県気仙沼市を訪問しています。これまで、日野市立中学校の代表生徒は、東日本大震災を経験し地域の復興のために尽力されている方や気仙沼中学校の生徒会と交流をしてきました。

新型コロナウイルス感染症のため、3年ぶりとなった気仙沼市訪問では、事前に学習した日野市の特色に加え、現在の気仙沼市を見学して感じたことを気仙沼中学校の生徒会役員と意見交流をしました。

気仙沼中学校の生徒会役員との交流では、一人1台の学習者用端末を活用し、「2030年の気仙沼市や日野市のために“今” 私たちにできること」を考えました。「未来につなぐ創造力プロジェクト」に参加した生徒は、気仙沼市で学んだことを各学校で伝え、持続可能な社会の創り手として主体的に活動していきます。



気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館にて



岩井崎や防潮堤を視察した後、杉の下の献花台にて献花をしました。



エネルギーの地産地消や気仙沼市の津波の歴史について学びました。



橋を渡って気仙沼大島に行きました。



宿舎では、現地で感じたことを共有しました。



気仙沼中学校の生徒会役員と交流し2030年に向けて自分たちにできることを考えました。



わかば教室を知っていますか？

日野市わかば教室は、日野市在住で小中学校に在籍し長期間の欠席状況にある児童・生徒に対して安心して過ごせる学びの場を提供しています。わかば教室では人との関わりを通して、社会性や自立心の育成を目指しています。

また、毎日、常駐しているスクールカウンセラーとの相談活動を通して、個人の悩みなどを共有し人との関りについてもアドバイスをもらうことで、いろいろなことに少しずつ積極的に取り組めるようになっていきます。



一人一人の得意なものを見付け 伸ばす時間『わかデミー』

自分と対話して、「自分が好きなこと、やりたいことは何か」を見付け、「自分にあったやり方」で実践をしていく時間「わかデミー」。絵を描いたり折り紙で折ったり、体育館の運動で汗を流したりして、教科の学習を含め一人一人様々な活動をしています。中には、栽培の時間に取り組んだ内容をさらに深めようと多くの栽培方法を調べ取り組んでいる人もいます。「子供が悩み考えている時間」が自分の道を切り開いていく力になると考え大切に行っています。自分との対話や自己決定を踏まえた表現活動は、主体的な学びの基礎となります。わかば教室でのゆったりと流れる時間の中で子供たちが、生きる力を育ていけるように支援していきます。



「栽培の活動の様子」

様々な行事も少しずつスタート

新型コロナウイルスの感染予防のために制限されていた行事も感染対策を十分に行い少しずつ始めました。

4月には2年間実施できなかった多摩動物公園の校外遠足も実施されました。久しぶりの動物たちとの触れ合いを子供たちは楽しみ、それぞれに好きな動物や昆虫に触れ、観察しスケッチなどに取り組んでいました。



夏休み中にはオンラインで

夏休み中にはタブレットを使い、自宅からオンラインで指導員と教科の学習を行ったり、夏休み中の様子を話したり、また、様々な相談ごとをした中学生もいました。わかば教室と連絡をとることで、うまく長い休みを過ごしていました。

ひのっ子ががんばっています



日野第一小学校

ダンス世界選手権において5位入賞!



6年生の永関怜奈さんは、アメリカで行われた WORLD HIP HOP DANCE CHAMPIONSHIP において、所属しているチームの一員として活躍し、第5位の成績を収めました。体育の表現運動領域でも、踊りの特長を捉えて踊ることを得意としています。運動会では、組体操の課題解決に向けて、仲間と協力しながら、練習や発表内容の仕方を工夫しています。さらなる活躍を期待します。

日野第四小学校

空手・形の部 都大会1位・関東大会5位入賞!



6年生の小松瑠菜さんは、空手(糸東流)の形の部に出場し、都大会で第1位、関東大会で第5位の成績を収めました。小松さんは「私の得意な形は、平安五段とニーパイポーです。空手を通して、【礼儀】【あきらめない心】を学びました。中学生になっても空手を頑張って、全国大会を目指します。」と闘志を燃やしていました。

日野第八小学校

「ジョイソーラン祭り」で個人賞!



2年生の結城梨理さんは、山梨県で行われた「よさこいJOYソーラン」のイベントでよさこい踊りを披露しました。コロナ禍で中止が続く中、2年ぶりの開催。これまで踊りが難しくて練習に気持ちが乗らないこともありましたが、イベント開催が決まってからは頑張って練習し、チームの中で一番頑張った人に贈られる「個人賞」を受賞しました。このことが自信につながり、それ以降の練習も一層一生懸命取り組むようになりました。「また次のイベントでも個人賞がもらえるように頑張る!」と張り切っています。

日野第一中学校

柔道部 陸上部 関東・全国大会出場!



柔道部は2年連続で、都女子体重別選手権に優勝し、今年度も関東・全国大会への出場を決めました。また、陸上部も男子800m走で関東大会・1500m走で全国大会へ、女子100mで関東大会へ出場を決めました。

柔道部は、全国大会第5位、関東大会第1位、陸上部は関東大会に800m走において第4位という素晴らしい活躍を見せました。



日野第三中学校

吹奏楽部&合唱部がコンクール金賞!

吹奏楽部は東京都吹奏楽コンクール東日本部門に出場、シシー作曲「パンドモニウム」を演奏し、金賞を受賞しました。

合唱部はNHK全国学校音楽コンクール



東京都予選に出場し金賞を受賞。本選に進出し銀賞(東京都5位)を受賞しました。3月にはどちらの部も演奏会を開催予定です。お時間がありましたらお越しください。



日野第四中学校

関東大会に出場しました!

バドミントン部、水泳部の選手が見事関東大会に出場しました。

バドミントン部 有住悠さん(関東大会ベスト16)

水泳部 楠田乃愛さん(400m個人メドレー 優勝、200m個人メドレー 2位)、楠田聖史さん(200m平泳ぎ 8位)、斎藤奏音さん・櫻井美紀さん・北林理桜さん・高谷杏実さん・楠田乃愛さん(100m×4フリースタイルリレー 4位)



三沢中学校

水泳部が全国大会・関東大会で活躍! 野球部は多摩大会3位! NHKのど自慢チャンピオン!



水泳部は、東京都大会を勝ち抜き、高橋心花さん(3年)が100m背泳ぎで全国大会へ出場し、花井優斗さん(3年)が400m個人メドレーで関東大会へ出場し活躍しました。

野球部は、多摩大会第3位となり、マナーに優れたチームということで堀江杯を受賞しました。

伊藤奨庵さん(3年)がNHKのど自慢でチャンピオンになりました。



大坂上中学校

関東中学校卓球大会出場!



8月7日(日)千葉県千葉ポートアリーナで行われた、第50回関東中学校卓球大会(個人戦)に本校から、川嶋 康太郎さん(3年)が出場しました。大会においては、強豪ひしめき合う中、大いに実力を発揮し東京都代表として健闘してくれました。

これからも大坂上中学校卓球部はさらなる進化を遂げていきます。

シリーズ「教育委員会」ってなあに??? 未来を創る力を育む日野市GIGAスクール構想

教育委員会事務局の紹介 (ICT活用教育推進室)

教育委員会事務局がどのような仕事をしているか紹介するこのコーナー。今回は日野市GIGAスクール構想を推進するICT活用教育推進室の紹介です。

「日野市の全ての学校で、全ての教員がICTを活用した指導を実施できるようにする」ことを目的として平成18年4月に設置され、現在は日野市GIGAスクール構想の実現に向けて主に次のようなことに取り組んでいます。

- 一人1台学習者用端末(クロームブック)の整備や学習ソフト(電子ドリルなど)の導入
- 学校ホームページ、学校連絡アプリ(Home&School)の導入
- 学校の校内ネットワークや学校セキュリティポリシーの管理・運用
- ICT支援員が各校を訪問し、研修や授業づくりなど、教員のサポート
- プログラミング教材の貸し出しや、プログラミング授業のサポート
- 学校間の連絡や校務のデジタル化の推進、ペーパーレス化・オンライン化への取り組み



特別展 七生丘陵いま・むかし～ハイキングコースを歩く～

開催中

日野市の南部には、「七生丘陵」が連なり住宅地とともに緑の山が横たわっています。宅地開発が進む前は、丘陵のハイキングコースは多くの行楽客でにぎわい、新宿駅から高幡不動駅や平山城址公園駅への行楽客を運ぶハイキング特急で、子供たちは遠足に訪れました。

この展示では、ハイキングコースを中心に、観光地・行楽地としての七生丘陵の歴史や、丘陵エリアで見られる文化財や自然も紹介し、現在も楽しめる七生丘陵の魅力を発信します。七生丘陵にはまだ多くの緑が残されて散策コースも整備されています。地域の魅力を見直し、楽しもうという時代でもあります。ぜひ、この展示を機会に七生丘陵を歩いてみませんか。



昭和30年代のハイキングコースの案内板



日野第三中学校裏山の散策コース

【会 期】12月11日(日)まで
9:30～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(休日の場合は翌日)
【入館料】大人200円、小・中学生50円
【会場・問】
新選組のふるさと歴史館(☎042-583-5100)

「どんなほんがすき？」こどもよう2種、 大人用1種のブックリストをぜひご活用ください

図書館

絵本から文字が主体になった本を読む時期に差しかった時、ひとり読みを始めた時にどんな本を子供に手渡したらよいだろうか？そんなご相談を図書館では多数受けてきました。ゲーム感覚で好きな本と出あえる「こどもよう どんなほんがすき？パート1」「同 パート2」、本の内容紹介、図書館員からのおすすめポイントを記載した「大人向けどんなほんがすき？～初めてのひとり読みにおすすめの本」の計3種のリストは、そんなご相談にお応えするために作成したリストです。今年度、市内小学校2年生全員に3種をセットにして配布し、各図書館でもご希望の方に差し上げています。図書館HPでもご覧いただけますのでぜひご活用ください。



問 中央図書館(☎042-586-0584)

公民館平和事業を開催しました

77回目の終戦の日を翌日に控えた8月14日(日)、中央福祉センターと中央公民館に於いて公民館平和事業を開催しました。第一部はオンライン講演会「ウクライナの家族」の今、第二部は「市民による平和の祈り」の二部構成です。司会進行を務めた星槎国際高校や戦争体験の紙芝居の朗読を行った実践女子大学の学生など多くの若者たちがこの事業に携わり、ウクライナへの想いも馳せながらそれぞれが平和のメッセージを発信しました。公民館平和事業はこれからも若い世代と協力し合い、平和への想いをつないでいきます。



夏休み子どもカーデザイン教室を開催しました

公民館では、もの造りの楽しさや、大切さを学ぶため、また地元にある企業がどのようなことを行っている企業なのかを感じてもらうため、日野自動車㈱の協力を得て「夏休み子どもカーデザイン教室」を行いました。デザイナーやモデラーから教えを受け、自分たちがデザインした個性的な車を粘土で作り上げました。



学びのチャネル



ひの亭こども落語ワークショップ



しゃべりたい！笑わせたい！伝えたい！そんな小学生を大募集！小ばなしや短い落語のお話を覚えて最終日は発表会(こども寄席)に出演。さあ、キミも「落語家」になろう！

【日 時】
令和5年1月22日(日)、29日(日)、2月5日(日)、12日(日)の全4回
(1回目～3回目)小学1～3年生の部 10時30分～12時
小学4～6年生の部 13時30分～15時
(4回目)「ひの亭こども寄席」全学年合同 10時～12時30分
【会 場】七生公会堂 ホール
【参加費】1,500円(税込)※手ぬぐい・扇子代込み
【定 員】小学1～3年生の部:10名
小学4～6年生の部:6名
【受付開始】11月26日(土) 窓口10時 / 電話14時
※先着順。定員に達し次第、受付終了となります。
【ご予約・問】七生公会堂(☎042-593-2911)

地域の力で 学校と子供たちを応援してるよ ～地域学校協働活動推進事業～

各学校に「地域学校協働本部」を設置し、地域コーディネーターを配置することにより、地域住民と学校との連携のもと、実施しています。

地域の力で学習支援・
環境支援・見守り支援・
行事支援など

1

市内全小学校で実施しています。読み聞かせや、花壇の手入れ、登下校の通学路パトロールなど、幅広く学校支援をしています。

放課後の
学習支援事業
(地域未来塾)

2

放課後に学校や地域の特色を生かし、豊富な社会経験をもつ地域の人材を活用しながら、学習支援を行っています。

土曜日等での
体系的
プログラム事業

3

「小学生土曜算数教室」は、小学校6年生を対象に、夢が丘小学校地域学校協働本部が主体となり、実施しています。

ある日の 滝合小学校「たきあい塾」

放課後の学習支援事業
(地域未来塾)

元気に課題に取り組む子供たちの様子が見られました。小学校における支援事業に参加することは初めてでしたが、こうした、子供たちの学びや学校教育における諸課題について地域の力で乗り越えていく本事業の一端を経験させていただいたことは、今後の自分自身の学びにも繋げていきたいと考えております。短時間ではありましたが貴重な経験を積むことができました。



みなさん、今日も、
よろしくお願いします。



先生、また来てね。

生涯学習課 インターンシップ生 Kさん
2学期の「たきあい塾」が始まりました。子供たちの放課後を待って、学習支援員の方々が集まってきました。朝礼後、担当するクラスの教材確認や事前打ち合わせなど、チームごとに準備を進めていました。

生涯学習課S